

第3回 府中市男女共同参画推進協議会 議事録

- 日 時 平成27年9月30日（水）午前10時～正午
- 会 場 市役所北庁舎3階第2会議室
- 出席者 （委員）
諸橋会長、内海副会長、賀屋委員、後藤委員、小林委員、芝辻委員、
内藤委員、矢島委員、横山委員
（事務局）
岩田市民活動支援課長、松本市民活動支援課長補佐兼男女共同参画担当副主
幹、肥後男女共同参画推進係長、武富事務職員
- 欠席者 上村委員、宮浦委員、谷田部委員
- 傍聴者 なし
- 議 事 1 報告事項
(1) 市民企画講座について
2 審議事項
(1) 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価（案）について
- 資 料 1 府中市男女共同参画計画 重点項目一覧（各委員評価結果）（資料1）
2 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価（案）（資料2）

開会

【会長】

これより第3回府中市男女共同参画推進協議会を開会いたします。事務局から本日の委員の出席状況などについて報告してください。

【事務局】

本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。本日の出席状況ですが、上村委員と宮浦委員と谷田部委員の3名の委員から欠席のご連絡をいただいております。現在、定数12名中9名の委員の皆様に出席をいただいておりますので、過半数を超えておりますので、本協議会は有効に成立いたしますことを併せてご報告いたします。

【会長】

傍聴はないということで、このまま始めさせていただきます。資料の確認をお願いします。

【事務局】

配布資料の確認をさせていただきます。

（資料の確認）

【会長】

ありがとうございました。それでは議事に入ります。前回7月21日に実施した第2回協会の議事録につきましては、事前にご確認いただいていると思いますが、改めて修正等でお気づきになることはございませんか。

(「特にありません」声あり)

【会長】

では、前回の議事録について承認いたします。事務局は公開の手続きをお願いします。続いて議題の報告事項(1)市民企画講座について、事務局からお願いします。

【事務局】

それでは、報告事項の(1)市民企画講座についてご報告いたします。

まず、8月9日(日)に実施いたしました「夏休みバルーン教室 おうち水族館」につきましては、参加者は20組、そのうち父親の参加は3組でございました。

次に今後の実施予定といたしまして、本日配布いたしましたチラシ「自分にもうひとつの生き方をプラスする講座」をご覧ください。こちらは10月10日(土)午前10時から実施いたします。また、もう一枚のチラシの「子どもの貧困と地域での支援を考える」につきましては、10月17日(土)午後2時から実施いたします。委員の皆様におかれましても、ご都合がございましたら是非ご参加いただければと思います。以上でございます。

【会長】

ありがとうございます。8月9日の「夏休みバルーン教室」は、20組も参加があり、そのうち3組のお父さんの参加があったということで、初期の目標は達成できたということで良いと思います。今後報告が出て事業評価等がされることになると思います。

続いて、審議事項に移ります。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、審議事項(1)府中市男女共同参画計画推進状況評価報告・第三者評価(案)についてご説明いたします。

今年度の第三者評価について、各委員に評価いただいたものをもとに当協議会で協議し、まとめることとしております。委員の皆さまには、事前に各施策の取組実績等を踏まえ評価をいただき、ありがとうございました。それでは、集計結果の見方についてご説明いたします。資料1 府中市男女共同参画計画 重点項目一覧(各委員評価結果)をご覧ください。事業項目番号001の「審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進」の右側に並んでいるアルファベットは、各委員による評価であり、その右側の数字は評価を数値化し平均を出したものでございます。また、各委員からのコメントは下の特記事項に記載しております。

その下の「判定理由及び改善策の提言等(案)」につきましては、各委員のコメントをもとに作成した事務局案となっております。その右側の空欄には、評価基準に基づきAからEの

5段階のどの評価とするかご審議いただきたいと思います。また判定理由及び改善案の提言等（案）につきましても、あわせてご審議くださいますようお願いいたします。説明は以上でございます。

【会長】

では、1つ目の事業項目番号001「審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進」についてですが、いかがでしょうか、これについての評価と判定理由及び改善策の提言等（案）に加えること等はいかがでしょう。

【委員】

私はDをつけたのですが、理由は、女性の委員がゼロの審議会等が増えているからです。女性の委員が一人もいないのを解決しようという努力が、全く見えないという印象を持ちました。どの委員会にもちゃんと女性が入っているというバランスが重要だと考えますので、ここはDにしたいですね。

【委員】

府中市は男女共同参画都市宣言をしていますよね。それにしては、ちょっとという気がします。女性の委員が多ければ良いというだけではなく、委員になれるような人を育てたりする方が大切ではないかと感じます。

【会長】

ありがとうございます。女性の委員がゼロの委員会が増えているのではないかとという点と、どの審議会等にも女性が入っているバランスが大事だという点、委員を育てるという点は大事な指摘ですので、この3点を判定理由に加えていただきましょうか。

【事務局】

こちらの数値目標について、以前は30%でしたが主管課が35%に上げました。市としては女性の登用を積極的に行うためにその働きかけを継続的に行っており、実際の数値も上がってはおりますが、まだ目標には達していないというところです。

【会長】

3割は超えており、初期の目標には達していますね。35%の目標を掲げて32%というのは努力の賜物だと思います。また、任期の関係もありますので、すぐに女性の委員にというわけにはいかないところもあると思います。事務局の努力は十分評価しておりますが、女性の委員がゼロの委員会は逆に増えているという実態がありますので、引き続き働きかけを行っていただきたいですね。

【委員】

これまでの努力と取組は十分わかりますが、多分それを同じことをしていても変わらないと思います。さらに今までと違う方法で女性の委員を増やすことと、比較的新しい審議会等における女性の委員がゼロということなので、審議会等を立ち上げたときから女性の委員を入れるような働きかけをしていかななくてはならないと思います。

他の項目と比べてもこの項目は特に男女共同参画の肝の部分であると思います。

【委員】

やはり、一人も女性の委員がいない審議会等があるのは問題ですね。だからといって、女性の委員が一人だけでは会議が進まないと思うので、複数の女性の委員がいるようにしてほしいですね。

【委員】

中には、元々女性が少ない分野で女性の選出が難しい審議会等もあるのではないかと思います。出しづらいところもある中で30%は超えており、少しは努力が感じられるので、現状維持のCをつけました。

【会長】

専門職を育てる努力など、長い目で見て増えていくような社会全体の修正が必要ですね。府中市は色々な人材がいると思うので、人材を見つける努力もしていただけたらと思います。

【委員】

引き続き働き掛けを行うのではなくて、新しい委員を育てる、開拓する取組と言いますか、女性の委員を選出しづらい審議会等はなぜそうなのかというところをもっと掘り下げていただきたいです。

【会長】

委員を育てる・見つける努力をしてくださいと。働き掛けだけでは、育っていきませんので、もう少し工夫が欲しいですね。最初にある重点項目ですし、この数字が府中市の心意気を表わすというところがあると思いますので。

【委員】

できれば、もう少し爆発的なものが欲しいですね。例えば、府中市が先鞭つけてクオーター一制等を取り入れても良いのではないのでしょうか。それによって、もっと皆さんの意識を高めていただきたいです。

【会長】

本当に良いご意見をいただきましたので、提言に加えましょう。

まず、目標に届いていないのと、女性の委員がゼロの審議会等が増えているため、この評価にしました。あとは、どの審議会等にも女性が入っているのが大事であり、委員を育てる努力や新しい委員を見つける努力、開拓する努力、長期的に委員を育てるという施策が欲しい、育てる努力をしてくださいということですね。「引き続き働き掛けを」という文言を直して、「新しい取組や働き掛けが必要ではないでしょうか」としましょう。さらに、「女性の委員を育てる努力とか開拓する努力」という文章につなげてください。あるいは、「大胆な取組が必要と考えます」もしくは、「結果に結びつく大胆な新しい取組や働き掛けが必要と考えます」でしょうか。

では、次の事業項目番号004の市民の自主的学習活動の援助についてです。Bの評価が

多いですがいかがでしょうか。

(意見等なし) それでは、評価はBですね。提言についても、案を生かしたいと思います。

続いて、事業項目番号010のコミュニティ活動等への参加促進です。評価平均は3.2でCが中心ということです。いかがでしょうか？

【委員】

地域でイベントがあると出席者は女性の方が多いですが、役員等になる人は少ないですね。もっと若い人にもと思っても、若い女性は子育てが大変でできない。

【会長】

そうですね。提案に「今後の地域づくりのためにも、若い人、子育て中の女性、そして男性、団塊の世代の方も引き込む努力を工夫してください」という文言をつけ加えましょうか。評価は、Cの現状維持でよろしいでしょうか。

次は、事業項目番号019の男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進です。こちらについていかがでしょうか。

【委員】

こちらは、男性がもっと参加すべきだと思います。男女共同参画というのは、両方で一生懸命に社会をつくらなければいけないので。男性がもっと参画するような努力があると良いと思います。

【会長】

その通りですよ。女性の委員が14%まで上がったというのは評価するとして、提言(案)には、「引き続き、男女双方の視点からの事業の推進」とあるので、それに加えて「男性の地域参加が大事なので、男性の参画を促す努力や取組を求めます」というようなことを入れましょうか。特記事項では、色々な視点を入れていただいている、シングルマザーとか高齢者とか、性的マイノリティーとか、外国人への配慮が指摘されていますよね。それも提言に入れてもいいかもしれません。では、評価はCでよろしいでしょうか。

次の事業項目番号021の女性職員の参画意識の向上です。こちらはいかがでしょう。

昇任試験対策の講習みたいなものはあるのでしょうか。

【事務局】

講習等は特に行っておりませんので、各自が勉強するしかありません。

【委員】

会社もそうですが、昇進試験の面接官はおそらくほぼ男性ではないでしょうか。状況からして、男性の中で試験を受けるというプレッシャーもありますし、試験対策が必要なのではないかと感じました。

【委員】

昔に聞いた話では、昇任試験を受けたくないという人がほとんどであったそうですが、今は女性の管理職の比率はだいぶ上がっているのですか。

【事務局】

数字的にはそんなに変わっていないと思います。その傾向をなくすために、職員課では、部長職の女性職員が、女性職員に対して働き掛けを行う講演会も実施しており、試験を受けるための意識啓発をしています。

【会長】

そういうモデルがいて、自ら講師役となり話をしてくれるというのは、良いことですよね。責任を持つ動機付けをするためには、仕事と家庭の両立が必要ですね。あとは、子育てと仕事とかに追われて筆記の勉強ができる環境にない等、男性と女性とでは勉強ができる条件が違いますよね。条件のハンデを埋めてあげる施策も必要と思いますが、いかがでしょうか。評価はCでよろしいでしょうか。

少しワーク・ライフ・バランスの部分を強調していただいて、「引き続き女性職員の参画意識の向上と試験を受けやすい環境づくり」あるいは、「試験勉強しやすい職場環境づくりに取り組む」も加えましょうか。

【委員】

例えば、クォータ制を取入れて、管理職の3割を女性にするなどの枠を作ったら、それぞれで考えるかもしれないですね。

【会長】

世の中に女性と男性がほぼ半数いるわけですから、すぐ導入できるかは別としてもある程度は政策的に取り込むことも必要ですよね。

先ほど、大胆な政策が必要というご意見も出ていましたけれど、こういうところにクォータ制やポジティブアクションを取り入れるのは、決して不公平ではないと思います。もちろん、ある程度の時限を区切ってということにはなると思うのですが。他に何かありますか。

【委員】

なぜ、なかなか女性が管理職になれないかというのと、女性の意識も、もちろんありますけれど、意識が高い人は管理職になっているかというとなっていませんので。この辺は非常に重要なポイントだと思うんです。

【委員】

難しいのは、係長ぐらいまででいいと思ってしまう女性の人が非常に多いのです。そこから上なんて想像ができない、そもそも周りにそういった方が少ないという現状もあり、まあある程度の年収はあるからいいかと思ってしまう。ですから、女性の意識の面もあると思います。

【委員】

そうしたら、その係長の女性を集めて意識改革をすとか、上に上がるためにはどうしたら良いか、あるいは、生涯賃金がこのぐらい変わってくる等の話を聞くと、係長まででいいと思っていた人も変わるかもしれませんよね。

【会長】

やはり全体を見ても、男性も含めて偉くならなくていいやとか責任を持ちたくないという風潮がありますよね。

【委員】

そういった人ばかりではないと思うのに、そうではない人まで「女の人は皆係長まででいいと思っているんですよね」と片付けられてしまうと、そうではない人達もそれにつられて上に上がれないということもあると思います。

【会長】

では、Cという事で今いただいている意見をうまく提言に盛り込んで、責任を持つ努力やワーク・ライフ・バランスのことをもう少し女性たちにも自ら持ってもらうような。逆に決めつけないで欲しいということですよ。

では、次の事業項目番号024②の起業のための講座の実施に移ります。いかがでしょうか。平均は3.1でCが多いですね。特記事項にあるように、フォローアップセミナーとかステップアップセミナー等、もっとPRしてくださいと付け加えてもらいましょうか。

次は、事業項目番号028②の啓発活動の充実ですね。いかがでしょうか。

【委員】

数値目標の啓発事業年間1回以上に対し、2回実施したということと、一般向け以外に職員向けに行ったのはとても良いので、Bが良いと思います。

【会長】

評価はBにしましょうか。

【委員】

府中市でこういった講演会を行っていたのを存じ上げなかったのですが、府中市には多くの大きい企業がいらっしゃるので、代表的なところに動員の要請をかけたら良いのではと思いました。

【会長】

では、企業との連携ということで、企業の人たちにももっとPRをし、動員してもらうなど集客の工夫とコラボレーションの両方を提案に入れましょう。これは広く啓発すれば事業所の方も労働環境を整備していく縁になると思いますので。

では、次の事業項目番号036低年齢児保育の充実です。いかがでしょうか。

【事務局】

皆様もご承知のことと思いますが、府中市の人口は推定人口よりもはるかに増えていて、それも若い世代が集合住宅などに多く入ってくるようになり、子どものいる世帯は非常に多いです。保育所の方が定員を増やしても子どもがまた増えていくという状況です。その中で待機児童が増えておりますが、実際は民間の保育施設には空きがある状態です。費用面等も

あると思いますが、市立の保育所に入りたいということで、待機児童となっているような実態があります。

【委員】

単純に数字だけでは見てはいけないのかなという気がして、私の周りにも府中市民の方が非常に多くいて、やはりどなたに聞いても府中は子育てしやすい町と評判ですので、一概に待機児童が増えているからといって、すぐ評価を落とすという評価はしなくてもよいかと思います、現状維持のCを付けました。引き続き頑張ってくださいという評価です。

【委員】

今のお話だと、民間の保育園は空きがあるということで、全く預ける所がないわけではないのであれば、なるべく公平に順番に市の保育園に入れるように皆でシェアすることができれば良いですね。市として民間の保育園との連携ができるのかはわかりませんが、横浜市でも、市の保育園だけではなくて民間の保育園とも提携して、実質的に保育園待機児童がゼロになったそうです。どこの保育園もいっぱいという状況のようでした。

【会長】

それを提言に加えましょうか。民間の保育園は空きがあるそうですので、そこと連携して待機児童を減らす努力をしてはどうでしょうか。公的援助も必要ですね。

【委員】

費用に関しては、何か手当等を検討してくださいというような文言を入れたいですね。

【会長】

補助を出すとか、民間保育園との連携等も模索してくださいといった事を入れましょうか。他に何か指摘ありますか。

【委員】

割と緊急な措置が必要だと思います。税収もその子どもたちがまた賄ってくれるものです。また、コメントの中に「子どもが3歳まではなるべく母親の手で育ててほしいので」というものがありますが、3歳までに職を失うと母親のその後の職場復帰がすごく難しくなることを考えますと、低年齢児保育の充実はとても大切だと思います。この項目に関しては緊急の措置が必要だと思いますので、引き続きという言葉で今までと同じではいけないと感じます。

【会長】

ただ今ご意見をいただいたように、民間保育園の空きの有効利用やコラボレーション、それから緊急的にサービスに応じる努力ですね。保育園が見つからないと仕事も出来ない、あるいは家にもいられないということで、ワーク・ライフ・バランスを壊してしまう。それを提案に入れましょう。「緊急的な対策が必要と痛感します」等の文言でしょうか。

では、次の事業項目041のひとり親家庭の自立のための援助サービスの実施ですね。評価は、全員一致ですので、Cでよろしいと思います。提言についてはいかがでしょうか。

【会長】

自立促進セミナーは子どもの成長を見守るというのにも入っていますが、ひとり親家庭をなぜ支援するかというと、もちろん子どものためと親の所得・収入の確保のためと両方あると思います。

【委員】

いろいろな事情があってひとり親になっていると思われませんが、一番の被害者は子どもだと思うので、そのあたりが何とかならないでしょうか。

【会長】

では、男女共同参画の視点とともに子供の発達や成長が阻害されないような、孤独にならないような細かいサービスが大事だということですね。子どもの成長の視点も大事にしてくださいということを提言に盛り込みましょうか。

【会長】

次は、事業項目番号044の生きがい事業の充実です。いかがでしょうか。前にも述べましたけれど、老人クラブには男性がもう少し加わってもらおうと良いですね。男性の参加への呼び掛け、参加しやすい事業内容の工夫ということで。特に団塊世代の高齢者仲間入りということが課題ですよ。

【委員】

残念ですが、退職してから社会へという人は少ないですよ。

【会長】

もっと地域に引き込みたいですね。

【委員】

リタイアする前からの社会参加を促進するようなことをもっとしないといけないですね。

【会長】

それは面白い指摘ですね。

【委員】

ずっと仕事に燃えてきた人が急に地域で活躍しなさいと言われてもできないですよ。仕事で良い職にいて部下に指示をしていた方が、定年になって地域に帰った時にどうしてもそれが出てしまい、地域から浮いてしまって居づらくなってしまふということがあります。今のご意見にありましたように、リタイアする前に少しずつボランティア等で地域に顔を出して馴染んでいかないと、地域の様子がわからずに社会にいたままの状態に地域に飛び込んでくるようになってしまいますよ。

【会長】

よくわかります。提言にリタイア前の現役時代から啓発していくことを加えましょうか。その人たち向けのいろいろな事業も考えられると思います。ワーク・ライフ・バランスを大事にして、若い頃・現役時代からの地域参加が必要だと思いますので、そのあたりを啓発す

る。高齢社会なので、仕事が生きがいではなく老後の生きがいを地域でというのを若いうちから知っておいてもらう必要があるということですね。

では、続いて事業項目番号054の在住外国人女性の支援です。いかがでしょうか。学習者登録数は増えています。先ほどの地元の企業との連携もそうですが、特に地元の大学との連携も増えており、良いことだと思います。

【委員】

私はBを付けたのですが、やはりいろいろな所と連携していくと、ひとつの組織ではできなかった事も可能性が広がると思います。

【会長】

コメントにあるサロンのことは、改善策の提言にも加えていただきましょうか。

【事務局】

ただ今、企業との連携というお話がありましたが、そこに来ている方は、企業から来ていることが多く、そこから同じ会社の人に情報が伝わっているようです。また、地元大学との連携につきましては、国際交流サロンで学習会の講師をお願いしています。あとは、コメントにございました「育児ノート」とは、おそらく防災ノートのことであると思います。昨年度、外語大と国際交流サロンの日本人ボランティアの方と府中市の三者が協働して、外国人のために絵で見る防災ノートを作りました。テレビの地震の速報はこういう意味であるとか絵で見てわかるようになっていたり、緊急時の連絡先などをまとめた小冊子を作り、外国人に配布をしているところです。また今後につきましては、子育てに関する情報をまとめようということで、連携を図って実施しているところです。

【会長】

今後、多様性の時代が府中市でも始まると思いますので、新たな事業の立ち上げも含め、サロンの拡大・拡充や大学・企業の外国人との交流ということを下にも加えていただきましょうか。

では、最後になりますが、事業項目番号057の平和展の開催ですが、いかがでしょうか。

【委員】

担当課の対応内容で「男女共同参画にかかる目線を取り入れると事業の主旨が変わってしまう恐れがあることから、いずれの提言も実現は困難」というところが信じられないというか、姿勢があまりにも男女共同参画を理解していないんじゃないかと感じました。私は、どのような事業にも男女共同参画の視点をとり入れることが重要だと考えます。事業の主旨が変わってしまうというのはどういう事でしょうか。高い目標を掲げているのは、評価しますが、ちょっと考え方が違うように思います。

【事務局】

主管課の方で書いている男女共同参画にかかる目線を取り入れると事業の趣旨が変わってしまう恐れがあるというのは、特に男性だけ女性だけというのではなく、全ての日本人を対

象にしているという意味であると思います。

【委員】

いくら提言しても、その提言の実現は困難と考えますと書いてありますが、ここでまた提言をしても実現は困難でございますと言われてしまうと。

【委員】

内容的なことをもう少し加えたほうが良いと思いますので、次回までとっておいてはいかがでしょうか。

【会長】

コメントの中にある「市民と協働して男女が共に助け合って平和な社会を作っていけるような平和展の企画を」を入れることで、主管課も少し理解してくれるのではと思うので、そのまま提言にしても良いと思います。それからもう一つ、平和宣言している都市でもあるので。戦争体験を風化させないために今後も事業を継続してくださいということも加えたいですが、次回もう一度協議しましょうか。

それでは、次第の3に移ります。事務局からお願いします。

【事務局】

次回の開催は11月9日（月）の午後6時半から府中市役所の会議室で行う予定です。

【会長】

それでは、本日の協議会を閉会いたします。ありがとうございました。